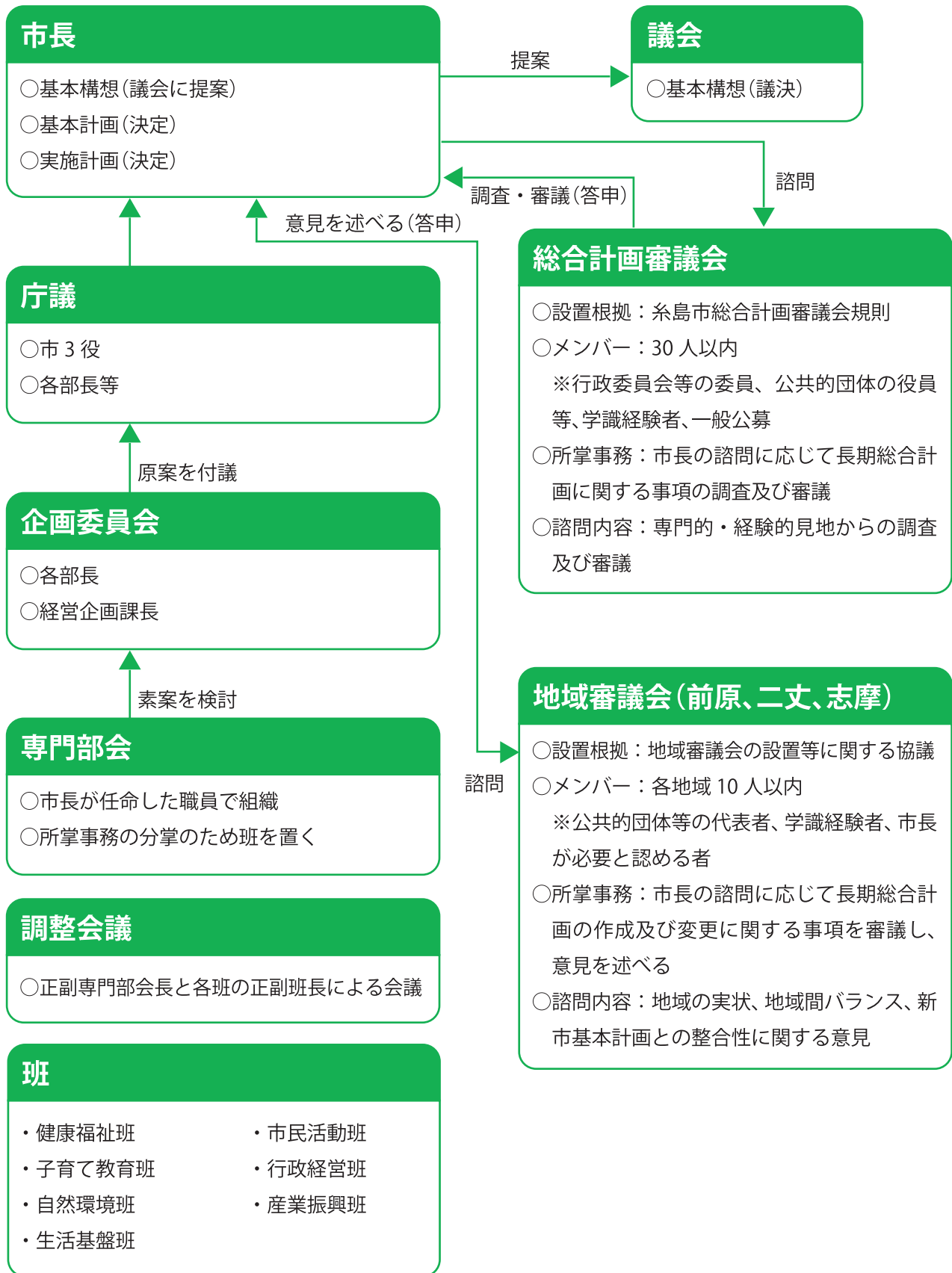


付属資料

- 第1次糸島市長期総合計画策定体制
- 計画策定の経緯
- 総合計画審議会 委員名簿
- 第1次糸島市長期総合計画について（諮問）
- 第1次糸島市長期総合計画について（答申）
- 各地域審議会の委員名簿、諮問書、答申書
（前原地域審議会、二丈地域審議会、志摩地域審議会）

第1次糸島市長期総合計画策定体制



計画策定の経緯

平成 22 年

2.23 策定方針決定
 4.6 第 1 回企画委員会
 4.14 第 1 回専門部会
 4.15 専門部会各班での検討・協議
 ～ 6.21 (約 20 回)
 4.15 総合計画審議会委員の公募
 ～ 5.10 (委員 20 人中 5 人)
 4.22 第 1 回専門部会 調整会議
 5.14 市民意見の募集
 ～ 6.18 (3 人から意見)
 5.19 第 2 回専門部会 調整会議
 6.14 第 3 回専門部会 調整会議
 7.5 第 4 回専門部会 調整会議
 7.13 第 2 回企画委員会
 7.16 第 2 回専門部会
 7.20 第 3 回企画委員会
 7.27 第 4 回企画委員会
 7.29 第 1 回総合計画審議会
 (諮問)
 8.3 第 5 回企画委員会
 8.10 第 2 回総合計画審議会
 (ワークショップの開催)
 8.18 市長より市議会に中間報告
 8.19 第 3 回総合計画審議会
 8.27 第 1 回志摩地域審議会
 (諮問)
 8.30 第 1 回二丈地域審議会
 (諮問)

8.31 第 1 回前地域審議会
 (諮問)
 9.1 パブリックコメントの実施
 ～ 9.30 (12 人から意見)
 9.22 第 4 回総合計画審議会
 9.28 第 2 回志摩地域審議会
 9.29 第 2 回二丈地域審議会
 9.30 第 2 回前地域審議会
 10.7 二丈地域審議会から答申
 10.8 前原・志摩審議会から答申
 10.12 第 5 回総合計画審議会
 10.18 第 6 回総合計画審議会
 10.25 総合計画審議会から答申
 10.26 庁議提案・協議
 ～ 11.9 (計 3 回)
 11.4 市議会市民福祉常任委員会に中間報告
 11.5 市議会建設産業常任委員会に中間報告
 11.10 市議会総務文教常任委員会に中間報告
 11.25 市議会総務文教常任委員会に議案
 事前説明
 11.26 市議会市民福祉・建設産業常任委
 員会に議案事前説明
 12.1 市議会に「第 1 次糸島市長期総合
 計画基本構想」を提案
 12.16 市議会で「第 1 次糸島市長期総合
 計画基本構想」を可決

平成 23 年

1.13 市議会各常任委員会に基本計画
 ～19 を説明
 1.31 基本計画の決定

総合計画審議会 委員名簿

委員区分	氏名	所属・役職名	審議会役職
行政委員会等の委員	田中 三香子	糸島市教育委員会 教育委員長職務代理者	
	藤井 重登	糸島市農業委員会 会長	
市内の公共的 団体等の役員 又は職員	田中 明生	二丈町商工会 会長	
	松永 啓志郎	糸島市観光協会 会長	
	松尾 照和	糸島農業協同組合 代表理事組合長	
	稗田 輝男	糸島漁業協同組合 組合長	
	末崎 亨	糸島市社会福祉協議会 会長	
	柚木 利道	糸島市行政区長会 会長	副会長
学識経験を有 する者	坂口 光一	九州大学大学院工学研究院環境都市部門 統合新領域学府ユーザー感性学専攻 教授	会長
	三苫 純子	福岡県糸島保健福祉事務所 健康増進課長	
	岡 三恵子	特定非営利活動法人ジネス 代表	
	古川 マサエ	まえばる女性ネットワーク会員 (ふくおかみらいねっと前会長)	
	河野 尚美	子育て支援グループ 愛 can 副代表	
	田尾 泰幸	財団法人九州大学学術研究都市推進機構 事務局長	
	長田 秀敏	糸島市防犯協会 副会長	
一般公募した 市民	中原 和洋	公募委員	
	月川 はる奈	公募委員	
	佐藤 俊郎	公募委員	
	山内 国弘	公募委員	
	本田 正明	公募委員	

諮問書

22 糸経第 52 号
平成 22 年 7 月 29 日

糸島市総合計画審議会会長 様

糸島市長 松 本 嶺 男

第 1 次糸島市長期総合計画について（諮問）

このことについて、「糸島市総合計画審議会規則」第 2 条の規定により、下記の事案について諮問します。

なお、答申は、平成 22 年 10 月 22 日までをお願いします。

記

1 諮問内容

「第 1 次糸島市長期総合計画案」について審議いただき、貴審議会のご意見を伺いたい。



総合計画審議会 ワークショップによる協議の様子

答申書

平成22年10月25日

糸島市長 松本嶺男 様

糸島市総合計画審議会
会長 坂口光一

第1次糸島市長期総合計画案について（答申）

平成22年7月29日付け22糸経第52号で諮問のあった「第1次糸島市長期総合計画案」について、当審議会の意見は下記のとおりです。

なお、会議の中で出された付帯意見については、計画の実施にあたり配慮いただきますよう要望します。

記

1 第1次糸島市長期総合計画案の審議にあたって

人口減少時代の本格的な到来、少子高齢化の急速な進行、長引く景気低迷に伴う地域における雇用問題、地球温暖化をはじめとした環境・エネルギー問題など、私たちの生活を取り巻く環境変化を的確に捉え、それらに伴う課題に対して真正面から向き合い、解決を図っていくまちづくりが求められています。

また、地域のことは地域が自ら考え、決定する「地域主権」が叫ばれており、地方政府としての技量（力量）も求められることとなります。

このような中、市民が将来にわたって安定的な行政サービスを受け、安心して暮らしていけるまちづくりをめざして、旧1市2町が合併し、糸島市が誕生しました。

当審議会では、糸島市の将来を考えるうえで、今後10年間のまちづくりが大変重要になるとの認識のもと、市の最上位の計画にふさわしい内容とするため、

- ・合併時に策定した新市基本計画との整合性
- ・市民に分かりやすい計画づくり
- ・市民協働のあり方
- ・地域資源の有効活用
- ・自然環境の保全

等を視点に、調査審議を重ねてまいりました。

以上の結果を踏まえ、本審議会としての意見がまとまりましたので、別添のとおり修正案を報告いたします。

2 付帯意見

- (1) 今後のまちづくりにおいても、“市民協働”は欠かせない手立てとなってくる。市行政と市民との役割分担が不明確であるので、この点を明確にして、真の「市民協働のまちづくり」を目指してもらいたい。
- (2) 行政と市民の対等なパートナーシップを推進し、市民協働を実のあるものにするために、市長のリーダーシップで「行政改革」を強力に推進していただきたい。
- (3) 人口 10 万人の都市として、常に地域経済を意識し、農林水産業、商工業をはじめとする地場産業の振興に力を入れ、特に、地元で若者たちが生活していける仕組みをつくり上げてもらいたい。
- (4) 糸島市の持つ強み・魅力を横断的・複合的に生かし、糸島ブランドの確立とそれをより一層高めるための具体的な取組として、市民参画の仕組みづくりを進めていただきたい。
- (5) 市民と行政とが今後 10 年間のまちづくりの方向性を共有できるよう、計画の内容を市民に積極的に PR するとともに、分かりやすい説明を行っていただきたい。また、「計画、実行、評価、改善」という各段階において、市民がその内容を検証できるよう、定期的に進捗状況を市民にも公表していただきたい。
- (6) 環境変化がめまぐるしい中、先見性と積極性、そしてスピード感を持ったまちづくりを期待する。また、国の交付金制度、規制緩和制度（特区など）などを積極的に活用願いたい。
- (7) 市民と行政との協働・透明性の高い行政経営を推進し、国内外に向けて生きた情報発信を行うために、ツイッター等のソーシャルメディアをはじめとする、新しい情報通信技術（ICT）の活用を積極的に進めていただきたい。



答申の様子

前原地域審議会 委員名簿

氏名	所属・役職名	審議会役職
川上 幸太	糸島市行政区長会 雷山校区代表者	副会長
岡崎 秀康	糸島農業協同組合 理事	
鍋嶋 民生	糸島漁業協同組合 加布里地区代表理事	
島崎 光	前原市商工会 副会長	
山下 喜暉	糸島市前原地区民生委員児童委員協議会 会長	
井上 九十九	糸島市老人クラブ連合会前原支部 支部長	
小島 幸江	まえばる女性ネットワーク 会長	
井上 智	元糸島1市2町合併協議会 委員	会長
仲西 まゆみ	元糸島1市2町合併協議会 委員	
牛原 信子	糸島市PTA連絡協議会母親部会 部会長	

諮問書

22糸経第68号
平成22年8月31日

前原地域審議会長 井上 智 様

糸島市長 松本 嶺 男

第1次糸島市長期総合計画案について(諮問)

このことについて、「前原市、糸島郡二丈町及び糸島郡志摩町の廃置分合に伴う地域審議会の設置等に関する協議について」第3条の規定により、下記の事案について諮問します。

なお、答申は、平成22年10月8日までをお願いします。

記

(1) 第1次糸島市長期総合計画案について

別紙「第1次糸島市長期総合計画案」について、ご意見をお伺いしたい。

答申書

平成 22 年 10 月 8 日

糸島市長 松本 嶺 男 様

前原地域審議会
会長 井上 智

第 1 次糸島市長期総合計画案について（答申）

平成 22 年 8 月 27 日付け 22 糸経第 68 号で諮問のあった標記の件について、審議会を開催し、長期総合計画案について議論いたしました。

現在、国も地方も借金を抱え、財政が崩壊しかねない状況にあります。これまでのように、「役所に言えば何でもしてもらえる」という時代ではありません。そのため、市民にその状況を分かってもらえるよう、もう少し財政問題を前面に出し、協働を核とした行政運営をお願いします。

また、当審議会からの意見として、今後 10 年間の糸島市のまちづくりに必要な事項を下記のとおり取りまとめましたので、これを答申とさせていただきます。これらの意見を計画に盛り込んでいただきますようお願いいたします。

記

1 将来目標人口の数値が新市基本計画の設定から変更したことの説明をきちんとすること。

合併協議会では、新市基本計画の将来目標人口を約 10 万 3,500 人に設定し、住民に説明してきた経緯がある。人口推計方法が新しくなったことは理解するが、その数値を変更するのであれば、きちんとした説明を記述する必要がある。

2 養護老人ホーム設置の構想を策定すること。

今後も高齢者が増え続けていくことを考えると、高齢者福祉の充実という観点から、高齢者が安価に入居できる養護老人ホーム設置構想の策定をお願いしたい。

3 お互いに顔の見えるまちづくりを推進すること。

「地域づくりは人づくり」という考えの下、社会の絆・家族の絆を大事にする必要がある。行政区加入の促進、学校運営に地域住民が参加するコミュニティスクールの活用、小学校区を単位とした校区まちづくりの推進など、地域住民どうしの交流を通じたまちづくりを推進すべきである。

また、まちづくりにおいてはボランティアの存在が非常に重要であり、育成と活動・活躍の場の創出を進めていただきたい。

4 若い人が地元で夢を持って暮らせるよう、働く場や生活していける環境を創出すること。

本市では市外へ通勤している人が多く、昼間人口が少ない状態である。地域づくりを進めていくにあたっては、昼間人口を増加させ、若い人の転出を少しでも防ぐことが重要である。そのため、若い人が夢を持って地元で働ける場、生活できる環境づくりをお願いしたい。

特に糸島市の強みである農業分野において、地元で農業に取り組みながら安定的な生活ができる環境づくりを進めていただきたい。

5 自然環境保全の面からも、農業振興により一層力を入れること。

担い手不足や農業者の高齢化による農業の衰退を懸念している。農地や農業用施設の維持管理も難しくなってきたため、農家の兼業支援、作業の機械化、農業部門への女性の参画の促進など、より一層の農業振興を推進していただきたい。

6 子どもたちが快適に学べる環境づくりを強調すること。

市内の学校施設では、老朽化が進んでいる箇所がある。子どもたちが学ぶ施設はとてほしいせつであり、「快適に学べる環境づくり」ということをもう少し強調していただきたい。

特に、トイレを綺麗に整備していただきたい。

7 地元高校のまちづくりへの活用を推進すること。

九州大学だけではなく、市内の高校も地元との連携・交流に積極的であり、地元高校のまちづくりへの活用にも言及していただきたい。

8 外部評価の実施と市民への公表を行うこと。

行政評価は内部評価だけでは「お手盛り」になってしまうことが懸念される。実施した事業が、市民にとってどのような効果があったのか、外部の評価委員による評価をお願いしたい。また、3年に一度でも良いので、その評価を簡単な冊子にして市民に配布していただきたい。

9 男女共同参画の施策について、もう少し踏み込んだ内容とすること。

男女共同参画の実現のため、基本計画の中にも「方針決定の場への女性の参画機会の確保」について言及してもらいたい。

また、審議会等委員への女性の登用率については、条例で決められている「30%」は必ず達成しなければならない数値であるため、基本計画の目標値としてはさらに上乗せして「40%」にしていただきたい。

二丈地域審議会 委員名簿

氏名	所属・役職名	審議会役職
中川 慶典	糸島市行政区長会 深江校区代表者	副会長
石井 徳雄	糸島農業協同組合 理事	
阿部 周一	糸島漁業協同組合 福吉地区代表理事	
那須 英仁	二丈町商工会 副会長	
森園 武彦	糸島市二丈地区民生委員児童委員協議会 会長	
和田 幸	糸島市老人クラブ連合会二丈支部 支部長	
谷口 洋子	二丈ひとの輪ネット 会長	
兵庫 金作	元糸島1市2町合併協議会 委員	会長
田中 輝子	二丈女性農業者協議会「ひまわり」 会長	
藤本 万里子	糸島市PTA連絡協議会母親部会 会員	

諮問書

22 糸経第 68 号
平成 22 年 8 月 30 日

二丈地域審議会長 兵庫 金作 様

糸島市長 松本 嶺 男

第 1 次糸島市長長期総合計画案について (諮問)

このことについて、「前原市、糸島郡二丈町及び糸島郡志摩町の廃置分合に伴う地域審議会の設置等に関する協議について」第 3 条の規定により、下記の事案について諮問します。

なお、答申は、平成 22 年 10 月 8 日までをお願いします。

記

(1) 第 1 次糸島市長長期総合計画案について

別紙「第 1 次糸島市長長期総合計画案」について、ご意見をお伺いしたい。

答申書

平成22年10月7日

糸島市長 松本嶺男 様

二丈地域審議会
会長 兵庫金作

第1次糸島市長期総合計画案について（答申）

平成22年8月27日付け22糸経第68号で諮問のあった標記の件について、下記のとおり当審議会からの意見をもって答申とさせていただきます。これらの意見を計画に盛り込んでいただきますようお願いいたします。

記

1 子育て環境を整備すること。

「子育て支援」が新市基本計画の重点プロジェクトの一つとなっていることにかんがみ、地域で子育てしやすく、また子どもたちが健全に育つ環境づくりのために、次に掲げる施策を講じていただきたい。

- (1) 二丈地域では、各校区が青少年育成に力を入れており、これまで培ってきた特徴的な取組を残していくためにも、子ども教室をはじめとした青少年育成事業に対する市からの支援の継続をお願いしたい。
- (2) 若い子育て世代の人を市内に呼び込むためにも、子ども専用の病院の設置をお願いしたい。
- (3) 障害児を持つ人に対する支援という観点からも、市内における養護学校の設置促進をお願いしたい。
- (4) 成長期の子どもたちにとって大変たいせつなことであるため、学校給食の充実をはじめとした食育の推進をお願いしたい。

2 二丈地域への九州大学関係者の居住を念頭に置いた住宅整備を促進すること。

九州大学の学生や教職員などを呼び込む意味で、九州大学連携地域である二丈武・二丈松国地区をはじめ、二丈地域全体における住宅整備の構想を立て、その促進をお願いしたい。

3 企業誘致によって地域住民の雇用の場を確保すること。

将来像の中にある「人も元気」を実現するためには、市民の生活が豊かであることが前提となる。また、糸島市で育った若い人が市外へ転出してしまわないためにも、自然環境に配慮した企業誘致を展開し、雇用の場づくりを進めることが必要である。

4 生涯スポーツの推進と施設の整備・充実を図ること。

市民の健康づくりや各種スポーツ大会の開催などのためにも、市内のスポーツ施設の充実を図ってもらいたい。また、九州大学のスポーツ施設の有効活用などについても検討していただきたい。

高齢者をはじめとする市民の健康づくりのため、グラウンドゴルフやパークゴルフなどができるグラウンド等の施設整備をお願いしたい。

5 生涯学習の充実について基本計画に示すこと。

生涯学習については、基本計画では、公民館、図書館、スポーツに限定されているため、市として、市民一人ひとりが学べる生涯学習をどう進めていくのかを示していただきたい。

また、生涯学習ボランティアの育成・活用について、充実させる旨の記述をお願いしたい。

6 男女共同参画ネットワーク等と協力した男女共同参画のまちづくりを推進すること。

男女共同参画のまちづくりを進めるにあたって、市民協働という観点からも各地域の男女共同参画ネットワーク等との協力について、主な取組の中で触れていただきたい。

7 校区自治を推進できる支援体制づくりを行うこと。

二丈地域では、住民が校区単位でのまちづくりに期待しており、組織づくりにしっかりと力を入れ、将来的に校区自治による地域主権のまちづくりを目指していただきたい。

8 荒廃森林の整備を推進すること。

里山保全、育てる漁業の推進という観点からも森づくりを進めていく必要がある。荒廃がかなり進んでいる森林について、私有林の所有者を把握し、きちんと整備（竹林対策含む。）するよう促していただきたい。

9 下水道の整備について、もう少し踏み込んだ内容を示すこと。

下水道の整備については、自然環境の保全という観点からも地域にとって重要なものであり、整備手法は別にして公の責任で整備してもらいたい。特に、整備が遅れている地区については、整備の見通しも含めて踏み込んで記述していただきたい。

志摩地域審議会 委員名簿

氏名	所属・役職名	審議会役職
二木 正伸	糸島市行政区長会 可也校区代表者	副会長
永翁 和成	糸島農業協同組合 理事	
山本 峰次	糸島漁業協同組合 専務理事	
山崎 九十九	志摩町商工会 会長	
溝部 秀輔	糸島市志摩地区民生委員児童委員協議会 会長	
吉村 勉	糸島市老人クラブ連合会志摩支部 支部長	
坂本 朱美	志摩女性ネットワーク 会長	
小河 俊和	元糸島1市2町合併協議会 委員	会長
白石 久美子	元糸島1市2町合併協議会 委員	
栗原 なぎさ	糸島市PTA連絡協議会母親部会 会員	

諮問書

22糸経第68号
平成22年8月27日

志摩地域審議会長 小河 俊和 様

糸島市長 松本 嶺 男

第1次糸島市長期総合計画案について(諮問)

このことについて、「前原市、糸島郡二丈町及び糸島郡志摩町の廃置分合に伴う地域審議会の設置等に関する協議について」第3条の規定により、下記の事案について諮問します。

なお、答申は、平成22年10月8日までをお願いします。

記

(1) 第1次糸島市長期総合計画案について

別紙「第1次糸島市長期総合計画案」について、ご意見をお伺いしたい。

答申書

平成 22 年 10 月 8 日

糸島市長 松本 嶺 男 様

志摩地域審議会
会長 小 河 俊 和

第 1 次糸島市長期総合計画案について（答申）

平成 22 年 8 月 27 日付け 22 糸経第 68 号で諮問のあった標記の件について、下記のとおり当審議会からの意見をもって答申とさせていただきます。これらの意見を計画に盛り込んでいただきますようお願いいたします。

記

1 基幹道路の整備を促進すること。

志摩地域では道路の混雑が見受けられ、幹線道路の整備が充分ではない。自動車が地域を循環できるよう幅員が広い道路を整備し、西九州自動車道へ円滑に接続させる必要がある。特に、九州大学関連道路である学園通線西回りルートについては、志摩初地区より先の法線の決定を含めて早期に整備促進を行っていただきたい。

2 九州大学関連の企業、研究所の立地と定住化を促進すること。

九州大学との関連で、企業や研究所の立地が期待されるが、西九州自動車道前原インターチェンジ周辺のみならず、泊、馬場、松隈、志登地域も含めた一層の立地促進をしていただきたい。

また、九州大学関係者の市内定住化についても、都市部のみならず、人口が減少している地区へも促進していただきたい。

3 線引きの見直しと規制の緩和を検討すること。

糸島市の都市計画の線引きについては、合併によって同じ自治体となったことにかんがみ、市全域で統一した取り扱いとなるようお願いしたい。

また、志摩地域では、九州大学移転に伴う無秩序な開発を抑制するために、平成 14 年に都市計画の線引きが実施されたが、人口減少などさまざまな弊害が出ている。線引きについては、地域における経済活動の活性化にも配慮して、規制の緩和と定期的な見直しの必要性について検討していただきたい。

4 総合健診を受診しやすい環境づくりを推進し、受診率の向上を図ること。

市は、総合健診の受診率向上に努めているが、さらなる受診率の向上のためにも、総合健診会場への交通アクセスの確保や申込締切日までの日程的な余裕の確保など、受診しやすい環境づくりに努めてもらいたい。特に 70 歳を超えた高齢者に対しては、専用の受診日を設けるなど配慮をお願いしたい。

5 生活路線バスの充実を図ること。

JR沿線地域以外では、子どもたちの通学や高齢者の通院・買い物などで送迎が必要となっている。子育て支援や高齢者の日常生活維持の観点から、生活路線バスの充実をお願いしたい。併せて、生活路線バス維持のために、市民に対するさらなる利用促進をお願いしたい。

6 防犯体制強化のための各団体のネットワーク化を推進すること。

地域における防犯体制、青少年育成指導、青色灯パトロールカーの運行などについては、各団体がそれぞれ活動を行っている。これら団体のネットワーク化を図り、より効率的で効果的な活動になるよう連携を強化していただきたい。

7 地域環境の保全を図るため、松くい虫対策を進めること。

地域の自然環境の保全を図り、観光などに積極的に活用できるようにするためにも、松くい虫の防除に力を入れていただきたい。

8 農業の担い手の育成と農業用施設の適正管理を進めること。

農業分野では担い手が少なく、農業従事者の高齢化が進む中で、河川や畦はんの管理が困難になっていることから、糸島の美しい原風景が失われることを懸念している。基本計画には「農業の担い手育成」が示されているが、具体的に新規就農者に対して支援を行うなど、市が強く施策を打ち出していただきたい。

9 生涯スポーツや健康づくりのための施設を設置すること。

スポーツは、地域住民どうしのコミュニケーションを図るために大いに効果がある。そのため、生涯スポーツや健康づくりに取り組むことができるスポーツ施設の設置をお願いしたい。スポーツ施設があれば、各種大会を開催することが可能となり、地域への経済効果も見込まれる。

